

都市再生交付金 事後評価シート  
城東周辺地区

平成24年2月

岡山県津山市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	岡山県		市町村名	津山市		地区名	城東周辺地区			面積	85 ha		
交付期間	平成21年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年4月～平成24年3月		交付対象事業費	265 百万円	国費率	0.414				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	地域生活基盤施設(城東地区案内板)、高質空間形成施設(電線類地下埋設施設、カラー舗装)									
	当初計画から削除した事業		提案事業	地域創造支援事業(電線類地下埋設施設)、まちづくり活動支援事業(津山大名行列の復元、研修会・ワークショップの開催、町並み修景整備事業)									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	新たに追加した事業		基幹事業	なし									
			提案事業	なし									
交付期間の変更		当初	平成21年度～平成23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更	なし										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	観光施設利用者数	人/年	28,556	H19	40,000	H23	45,068	44,661		あり なし	施設の整備により出雲街道への訪問者が増加し、観光の魅力ある場所として効果が発揮されている。	平成24年5月
	指標2	旧出雲街道のまちなみが魅力的であると思う人の割合	%	43	H19	50	H23		87		あり なし	出雲街道の整備などの魅力向上の取組により、目標値を越えており、活性化につながった。	
	指標3	文化活動参加者数	%/年	0.0	H19	地区住民の5%	H23		10		あり なし	核施設である津山洋学資料館での文化活動の開催により、活動が活発化している。	平成24年5月
	指標4	町並保存建物数	件/年	1	H19	3	H23		2		あり なし	昨今の経済情勢の中で、改修等の気運が盛り上がりづらい状況にあり、苦戦している。	平成24年5月
	指標5										あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度 <sup>1)</sup>	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	文化活動参加者増加率	%	100	H21				213			文化活動参加者が急増しており、地域の文化活動への効果が発揮されている。	平成24年5月
	その他の数値指標2	年平均町並保存建物数	件/年	0.7	H19				2.6			従前と比較し3倍強の伸びを示しており、一定の効果があった。	平成24年5月
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	城東地区の観光施設の一部は、連合町内会城東支部に管理委託しているが、城東支部では、観光客におもてなしの心が必要であると考え、管理人等におもてなしの講習を実施するなど、新たな活動が開始されている。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	城東地区の観光施設(作州城東屋敷、城東むかし町家、箕作阮甫旧宅、津山洋学資料館)の年間施設利用者数のデータ収集によるモニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				引き続き、データ収集を実施し、城東地区の魅力向上と観光振興の進捗を確認する。					
	住民参加プロセス	事後評価の素案を提示し、連合町内会城東支部役員に公表し、事業内容の評価及び問題点等の意見聴取を実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				地区住民の意見として捉え、今後のまちづくりに最大限その意見を反映させていく。また、定期的に意見交換会を開催する。					
持続的なまちづくり体制の構築	地区住民、行政機関及び民間団体との協働を継続するため「城東まちづくり協議会」の設立に向けて協議中		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				平成24年初頭に設立を目指し、協議を加速させる。						

## 様式2 - 2 地区の概要

城東周辺地区(岡山市津山市) 都市再生交付金の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 歴史・文化資源を活用した交流と賑わいのまちづくり 目標1: 旧出雲街道の歴史的なまちなみ景観を創出し、津山城跡との連携を強化した歴史・文化を活かしたまちづくりを推進する。 目標2: 新洋学資料館を核とした観光・文化ゾーンの形成を推進し、観光地としての魅力を向上する。	観光施設利用者数	単位: 人 / 年	28,556	H19	40,000	H23	44,661	H23
	旧出雲街道のまちなみが魅力的であると思う人の割合	単位: %	43	H19	50	H23	87	H23
	文化活動参加者数	単位: % / 年	0.0	H19	地区住民の5%	H23	10	H23
	町並保存建物数	単位: 件 / 年	1	H19	3	H23	2	H23
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域案内看板を主要な箇所に設置し、また、道路標示を施し、観光客等へ案内がスムーズとなり、観光資源の活用が期待される。</li> <li>・津山洋学資料館前面道路をはじめ無電柱化が図られ、一定の環境整備がなされたが、無電柱化されたいない区間があり、更なる無電柱化等の環境整備が必要である。</li> <li>・津山洋学資料館は年間2万人弱の入館者があり、隣接する旧箕作旧宅や城東むかし町家への波及効果もあり、賑わいを創出している。</li> <li>・各地区に各々の観光施設を表示し、回遊を促す観光案内板を設置し、観光客の利便性の向上を図ったが、観光施設を連携する施策を講じる必要がある。</li> </ul>							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧出雲街道の無電柱化区間を中心として美化向上を行い、観光振興に関するPRの強化を図る。</li> <li>・旧出雲街道を重要伝承建築物指定地域指定し、歴史的建造物の整備保存のために町並修景事業の強化推進を図り、観光振興に関するPRの強化を図る。</li> <li>・津山洋学資料館を核とした観光・文化振興を図るため、施設を有効利用したイベントや催しの開催、展示物の定期的変更等を行い、常に新しい情報発信を行っていく。</li> </ul>							